

# 大支援研ニュース

特別支援教育

平成27年11月30日発行  
大阪府支援教育研究会  
会長 今川 恵美子  
(池田市立石橋小学校長)

ホームページで  
お知らせが  
ある場合があり  
ます

<http://daishienken.visithp.com/>

ニュースや本会活動への問い合わせ・ご意見は、Mailにて件名に「大支援研問合せ」など「大支援研」を入れてください。

[jimukyoku2009@daishienken.visithp.com](mailto:jimukyoku2009@daishienken.visithp.com)

## ◇平成27年度の役員総会予定

役員総会（役員の方はご予定願います。）

第3回 日時：平成28年1月21日(木) 午後3時～5時 : たかつガーデン

## 冬季研修会のご案内（二次案内） 案内添付

(1) 日時 平成 28年（2016年）1月30日（土）午前 9時40分～11時40分

(2) 場所 たかつガーデン 大阪市天王寺区 東高津町7-11

(3) 内容

A **合理的配慮について** ～教室環境整備とユニバーサルデザイン授業について考える～  
後上 鐵夫氏（大阪体育大学教授）

B **SSW視点・法的視点からの生活指導・支援と保護者対応**  
～愛情保障と発達保障のためのアセスメント・プランニングのポイント～  
峯本 耕治氏（弁護士、府教委SSW事業スーパーバイザー）

C **ビジョントレーニング** ～アセスメントと効果的な指導法～  
北出 勝也氏（視機能トレーニングセンターJoy Vision代表、米国オプトメトリスト）  
井阪 幸恵氏（和泉市立国府小学校）

D **研究部担当 各地区からの実践報告** 通級指導教室での読み書きに困難を抱える児童の支援  
赤瀬 瞳氏（富田林市立富田林小学校）  
土井三和子氏（富田林市立川西小学校）

詳細及び申し込み方法は案内をご参照ください。12月14日以降に申し込みます。

定員を35～70名と少人数に設定して、参加される方の意見交換や活動が  
積極的に行えることを期待しています。

(4) 問い合わせ先

大阪府支援教育研究会 書記（研修部担当） 佐藤正幸

摂津市立第四中学校 TEL 06-6349-6181 FAX 06-6349-6184

または大支援研のホームページからお問い合わせください。

**大支援研研究部ICT活用プロジェクト「iPad体験会」について****案内添付**

主催：大阪支援教育会研究会研究部ICT活用プロジェクト

日時：2015年12月12日（土）13時30分～15時00分

場所：大阪府立箕面支援学校情報教室

内容：「iPadの基本機能紹介」「iPadの基本操作を学ぶためのAPP. 紹介」  
「iPadで作製した教材の紹介」「フリータイム&質疑応答など」

機器：大阪府立支援学校所有のiPadとネット環境

募集人数：20名

対象者：iPadの超初心者

（「iPadを触ってみるレベル」例：スワイプとかホームへの戻り方や基本操作を知りたい段階の人）  
や初心者（「iPadを使ってみるレベル」例：カメラで写真を撮ってみて、それをピクチャから見て  
みる段階の人）を対象にした支援学級担任及び通級指導教室担任及び、支援学校教員

**案内を見て申し込んで下さい。** 申込み方法及び問い合わせ先

平峰厚正（泉南郡熊取町立南小学校）

e-mail：ict2014※daishienken.visithp.com（※印を@に変えてください）

※問い合わせは、パソコンのe-mailにてお願いします。

※yahooメールで受理メールを送ります。

なお件名は「大支援研ICT活用プロジェクト問い合わせ」でお願いします。

※当日の連絡先平峰TEL 090-6055-3405

備考：超初心者及び初心者用のiPadの体験会は昨年度に引き続き実施する体験会です。

**2015年度行事部主催施設見学研修会報告 ー宮川医療少年院ー 報告添付**

2015年7月31日（金）今年度の行事部施設見学研修会では、昨年度に続き、三重県伊勢市にある「宮川医療少年院」を訪れました。訪れました。昨年度、希望が叶わず見学できなかった先生方や、研修等で医療少年院の取り組みを聞き興味を持っておられる先生方などから、今年度もたくさんの申し込みがありました。普段なかなか見学する機会のない少年院で、施設の方から貴重なお話をたくさん聞かせていただき、施設を見学させていただきました。プライバシー等の制約があるため、写真を掲載することはできませんが、約1時間半の見学で学んだことを報告します。

**ICT活用プロジェクト夏期講座の報告 報告添付**

遅くなりましたが、2015年8月13日、14日に開催されたICT活用プロジェクト夏期講座について報告させていただきます。

平成27年11月30日

各 学 校 長 様  
支援教育関係者 様

大阪府支援教育研究会  
会 長 今 川 恵美子  
(池田市立石橋小学校校長)

## **冬 季 研 修 会 の ご 案 内** (二次案内)

晩秋の候、先生方もご活躍のことと存じます。

9月に一次案内を出しました大阪府支援教育研修会研修部主催による冬季研修会を以下の要項で実施いたします。ふるってご参加いただきますようお願いいたします。

### 記

① 日 時 平成28年(2016年) 1月30日(土)  
午前9時40分～11時40分 (9時20分 受付開始)

② 場 所 たかつガーデン 大阪市天王寺区東高津町7-11  
近鉄 大阪上本町駅 北東 約 200m  
地下鉄 谷町九丁目駅 東北東 約 500m  
JR環状線 鶴橋駅 西 約 900m

申し込み締め切りの後、当日の各講座の会場配置を  
大支援研のwebサイトでお知らせする予定です。

③ 内 容 4つの講座を行います。内容は別紙をご参照ください。  
定員を35～70名と少人数に設定して、参加される方の意見交換や活動が  
積極的に行えることを期待しています。

\*\*\*\*\*

### **A 合理的配慮について**

～教室環境整備とユニバーサルデザイン授業について考える～

後上 鐵夫氏 (大阪体育大学教授)

### **B SSW視点・法的視点からの生活指導・支援と保護者対応**

～愛情保障と発達保障のためのアセスメント・プランニングのポイント～

峯本 耕治氏 (弁護士、府教委SSW事業スーパーバイザー)

**C** **ビジョントレーニング ～アセスメントと効果的な指導法～**

北出 勝也氏（視機能トレーニングセンターJoy Vision代表、米国オプトメトリスト）  
井阪 幸恵氏（和泉市立国府小学校）

**D** **研究部担当 各地区からの実践報告**

**通級指導教室での読み書きに困難を抱える児童の支援**

赤瀬 瞳氏（富田林市立富田林小学校）  
土井三和子氏（富田林市立川西小学校）

\*\*\*\*\*

④ 申し込み期間 **平成27年12月14日（月）**

**～ 28年 1月15日（金）**

ただし、各講座、会場の定員に達し次第、受付を締め切ります。  
必ず事前の申し込みをお願いします。

⑤ 申し込み方法 **大支援研のHPから、申し込みをお願いします。**

**「大支援研」で、検索してください。**

<http://daishienken.visithp.com>

氏名、所属校、参加希望講座、連絡先を必ず明記してください。

☆ HPから申し込みされたら数日以内に、申し込みされたアドレスに返信メールを送信します。まだ定員に達しておらず参加いただくことが可能でしたら、「参加確定メール」をお送りします。もし、定員超過の場合等、ご希望に添えない場合には、「お断り」のメールをお送りします。

連絡は、申し込みされたアドレスに送らせていただきますので、返信メールの受信が可能かどうか、ご確認ください。学校のPCや携帯・スマホなどから申し込まれた場合に、返信メールが届かない事例がありました。

返信メール以外での連絡をご希望される場合、「通信欄」に勤務先またはご自宅の連絡先（メールアドレス、電話またはFAX番号 など）をご記入ください。

☆ もし、申し込み後、1週間以上、連絡がない場合には、申し訳ありませんが、お問い合わせください。

⑥ 問い合わせ先 大阪府支援教育研究会 書記（研修部担当） 佐藤正幸

摂津市立第四中学校 **FAX 06-6349-6184**

**または、大支援研のHPから、お問い合わせください**

# 大阪府支援教育研究会 2015年度冬季研修会

## 講座の内容

☆ それぞれの講座内容についての具体的な質問や、講師の方に相談されたい事例がありましたら、お申し込みの際に、「通信欄」にご記入ください。

なお、具体的な事例について書かれる場合には個人情報にご配慮ください。

\*\*\*\*\*

### A 合理的配慮について

#### ～教室環境整備とユニバーサルデザイン授業について考える～

後上 鐵夫氏（大阪体育大学教授）

平成28年4月より「障害者差別解消法」が施行されます。この法律が作られてきた時代背景や国際世論の動向を理解しながら、いま、教育において差別解消を目的とした合理的配慮とはどうすることか。担任としてなさねばならないことは何か。学校として校内支援体制構築等準備しておくべきことは何かを考える内容とします。

そして、教室環境整備とユニバーサルデザイン授業について考えていきます。

### B SSW視点・法的視点からの生徒指導・支援と保護者対応

#### ～愛情保障と発達保障のためのアセスメント、プランニングのポイント～

峯本 耕治氏（弁護士、府教委SSW事業スーパーバイザー）

問題行動等、子どもの抱える課題への対応のためには、理由・原因の見立て(アセスメント)と、それを踏まえた合理的なプラン・作戦作り(プランニング)が不可欠です。

さまざまな課題を「愛着・不安課題」と「発達課題」の表現として見た上で具体的内容についてアセスメントする。そして具体的にどう対応していくか、愛情保障と発達保障を具体的にどのように行うかという発想・視点でプランニングすることが必要です。

事例をもとに、子どもたちをどのように支援していくか、保護者への対応・支援において大切なこと等について、SSW視点・法的視点から考えていきます。

## C **ビジョントレーニング ～アセスメントと効果的な指導法～**

北出 勝也氏（視機能トレーニングセンターJoy Vision 代表、米国オプトメトリスト）  
井阪 幸恵氏（和泉市立国府小学校）

ビジョントレーニングとは視覚(入力)、視空間認知、目と体の協応(出力)までの視覚機能を鍛えるものです。100年以上の歴史があり、ビジョントレーニングは50年ほど前にオプトメトリストによって始められました。オプトメトリストは日本ではまだ公的に認められていませんが、海外の多くの国々では高度の専門職となっており、この視覚機能のスペシャリストと言えます。今回は、視覚機能とはどういうものであるのか、現在の子どもたちの実態とビジョントレーニングの必要性、具体的なアセスメントのいろいろをお伝えします。また、アセスメントに基づいたビジョントレーニングを、実際に皆さんにも体験いただき、その楽しさについても知っていただきたいです。

さらに、このビジョントレーニングをどのように学校現場でどう取り組んでいくのかについてお話しします。学校でできるアセスメントと効果的な指導法をお伝えすることで、皆さんの実践につながることを願っています。

## D **研究部担当 各地区からの実践報告**

### **通級指導教室での読み書きに困難を抱える児童の支援**

赤瀬 瞳氏（富田林市立富田林小学校）  
土井三和子氏（富田林市立川西小学校）

通常学級でコツコツと自分なりに努力をしているにも関わらず、学習の習得が積み上がって行かなくて自尊感情が下がって行く子どもたちがいます。本人も保護者もなぜだろうと悩んでいることが多いです。その原因として、読み書きに大きな課題のある場合があります。そういう子どもたちに DAISY 教科書を活用した実践報告です。

- ・児童の実態把握(心理検査等)を踏まえた、読み書きに課題のある子どもと DAISY 教科書の活用の実践報告
- ・DAISY 化した社会科 3・4 年副読本「わたしたちの富田林」「わたしたちの暮らし」について DAISY 活用化した経過や活用状況などの実践報告
- ・通級指導教室担当者がリーディングチームのメンバー(専門家チーム)として行っている市内の小中学校の巡回相談、夏季研修会実施などの実践報告

## 大支援研研究部 ICT 活用プロジェクト「iPad 体験会」について

主 催：大阪支援教育会研究会 研究部 ICT 活用プロジェクト

日 時：2015年12月12日（土）13時30分～15時00分

※終了後の質疑応答の時間は延長する場合があります。

場 所：大阪府立箕面支援学校 情報教室

内 容：「iPad の基本機能紹介」

「iPad の基本操作を学ぶための APP 紹介」

「iPad で作製した教材の紹介」

「フリータイム&質疑応答など」

以上の4点を予定していますが、当日の受講者の実態なども考慮します。

機 器：大阪府立支援学校所有の iPad とネット環境

募集人数：20名

対象者：iPad の超初心者（「iPad を触ってみるレベル」例：スワイプとかホームへの戻り方や基本操作を知りたい段階の人）や初心者（「iPad を使ってみるレベル」例：カメラで写真を撮ってみて、それをピクチャから見てみる段階の人）を対象にした支援学級担任及び通級指導教室担任及び、支援学校教員

申込み方法及び問い合わせ先

平峰 厚正（泉南郡熊取町立南小学校）

e-mail：ict2014※daishienken.visithp.com

（※印を@に変えてください）

※問い合わせは、パソコンの e-mail にてお願いします。

※yahoo メールで受理メールを送ります。

なお件名は「大支援研 ICT 活用プロジェクト 問い合わせ」でお願いします。

※当日の連絡先 平峰 TEL 090-6055-3405

備 考：超初心者及び初心者用の iPad の体験会は昨年度に引き続き実施する体験会です。

# 2015年度 行事部主催 施設見学研修会 報告

－宮川医療少年院－

2015.7.31(金) 13:30～15:00

## 1. はじめに

今年度の行事部施設見学研修会では、昨年度に続き、三重県伊勢市にある「宮川医療少年院」を訪れました。昨年度、希望が叶わず見学できなかった先生方や、研修等で医療少年院の取り組みを聞き興味を持っておられる先生方などから、今年度もたくさんの申し込みがありました。普段なかなか見学する機会のない少年院で、施設の方から貴重なお話をたくさん聞かせていただき、施設を見学させていただきました。プライバシー等の制約があるため、写真を掲載することはできませんが、約1時間半の見学で学んだことを報告します。

## 2. 時程 2015年7月31日(金) 13:30～15:00

9:00	参加者集合、受付
9:15	出発
13:15	現地到着、見学
	1) 概要説明      2) 施設見学      3) 質疑応答
15:15	現地出発
18:30	解散

## 3. 宮川医療少年院について

### (1) 施設のあらまし

宮川医療少年院は、主に東海・北陸・近畿の各家庭裁判所において少年院送致決定を受けた入院時におおむね12歳以上20歳未満の男子少年のうち、

- ①知的障害又はその疑いのある者及びこれに準じた者で処遇上の配慮を要するもの
- ②情緒障害若しくは発達障害又はそれらの疑いのある者及びこれに準じた者で処遇上の配慮を要するもの

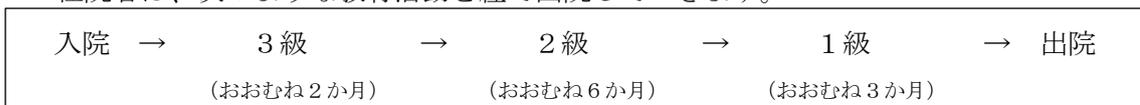
を収容し、特性に応じた治療的教育を行います。

### (2) 教育の特色

- ①基本的な生活習慣を体得し、円滑な社会復帰に向けての生活意欲を高め、社会に適応する力を向上させるための教育。
- ②受容的な雰囲気の中で、認知機能の向上を図り、自己理解を深め長所を伸長するための治療的教育。
- ③再犯・再非行を防止し、健全な生活を送る習慣を身に付けるための指導。

### (3) 教育の内容

在院者は、次のような教育活動を経て出院していきます。



生活指導・職業指導・教科指導・体育指導・特別活動指導

### (4) 一日の生活

6 : 5 0	起床・洗面・清掃
7 : 2 0	朝食
9 : 0 0	朝礼
9 : 1 5	教育活動
1 2 : 0 0	昼食
1 3 : 0 0	運動・教育活動
1 5 : 3 0	面接・読書・学習
1 6 : 3 0	夕食
1 8 : 0 0	日記・課題学習
1 9 : 3 0	余暇時間（テレビ視聴等）
2 1 : 0 0	就寝

職業指導・・・在院者の多くは転職を繰り返しており、基本的な勤労習慣が身につけていないため、一つの仕事に集中できるよう、根気・忍耐力を育てています。また、こうした実習を通して、心身の機能の向上をと協調性も育てています。

教科指導・・・義務教育や高等学校への進学を希望する者に対する指導を行っています。

治療的指導・・・認知機能強化トレーニング・認知作業トレーニング  
認知理論に基づいた治療的教育プログラムを実施しています。

社会復帰支援・・・出院後を見据えて、住居、就業先その他の生活環境の調整を行い、在院者が円滑に社会復帰できるよう必要な支援を行います。

①帰住調整 ②医療・療養に係る支援 ③修学に係る支援 ④就業に係る支援

### (5) 年間行事

1月	成人式	3月	卒業式	4月	観桜会
6月	開院記念行事	10月	運動会	11月	収穫祭
12月	クリスマス会				

その他、各種スポーツ大会、保護者会等を開催。

#### 4. 感想

- ・次長様の説明がとても優しく、わかりやすかったのですが、子どもたちにもこんな対応をされているのだろうと想像されました。様々な場所での配慮も感じられました。指導している子どもたちの未来がそれぞれの子にとっていいものになるよう、改めて自分の仕事の重さを実感しました。
- ・鑑別所に入る可能性がある生徒や支援学級でも非行傾向の生徒の対応を考えさせられました。少年院のイメージが変わりました。
- ・興味深い内容で、自分自身が関わっている子どもとの関わりを見つめ直す貴重な機会となりました。施設の方が学校では「枠を作ってあげる」ことも必要だと話されていましたが、彼らが社会の中で生きていくために必要なスキルなども身につけていく取り組みも改めて大事だとわかりました。
- ・職員の方が熱い思いを持って、日々在院者と接しているのがよく分かりました。今後、研修会で具体的に認知機能強化トレーニングや認知作業トレーニングの内容を知りたいです。
- ・普段見ることのできない施設を見学でき、非常にためになりました。「優しいが故に使われてしまうことが多い」という言葉が印象的です。そういった芽を摘み、未然にこうしたことを防ぐてだてを地域や学校が取り組んでいかなければと感じました。
- ・医療少年院の成り立ちや収容少年の情報についてよく理解できた。本校にも生活指導上の課題を抱える生徒もおり、医療少年院内で実施される教育の内容についてもっと知りたかった。
- ・これまで出会った子ども、今関わっている子どもの中にもちょっとしたきっかけで医療少年院にお世話になる可能性のある子どもたちはいます。支援教育の必要性を改めて感じました。
- ・とても興味深く参加することができました。支援学級の担任をしていると、「将来罪を犯す可能性があるのでは？」と感じる生徒と出会うことがあります。そんなことにならないよう、強い思いを持って、自立できる力をつけさせてあげたいと改めて感じました。

#### 5. おわりに

施設見学では、建物の廊下に飾られた、ちぎり絵の精巧な作品や工芸品などを見ることができました。少年院では、少年たちが社会に出られるようになるまで、しっかりとした教育が行われているのだと改めて感じました。

質疑応答では、参加されたある先生から、「学校で取り組んでほしいことはどんなことですか」という質問がありました。施設の方からは、「善悪のラインを示し、しっかりと枠にはめてあげてほしい。」「保護者が通常学級を望むケースもあると思うが、その子に合った支援ができるよう、説得してほしい。」という回答をいただきました。保護者向けに、「家庭に居場所を」「障害理解」といった内容の講話会を開かれたりもしているそうです。

関係機関とつなぐことや、子どもたちを理解し受け止め、しっかりとしたルールのある安心できる場所を作ることが、子どもたちが更生し再犯を防ぐためにも、私たち教師に求められていることなのではないでしょうか。

以上、今年度の行事部主催の施設見学研修の報告とさせていただきます。宮川医療少年院の方々、当日はお忙しい中、大支研施設見学研修会のためにお時間を割いていただき、ありがとうございました。末尾ながらお礼申し上げます。

大阪府支援教育研究会 行事部

# ICT 活用プロジェクト夏期講座の報告

大支援研研究部 ICT プロジェクト夏期講座事務局 平峰 厚正

遅くなりましたが、2015年8月13日、14日に開催されたICT活用プロジェクト夏期講座について報告させていただきます。

夏期講座の内容は、今年度も支援機器製作講座、自作ソフト製作講座、支援教材活用講座、教材作り講座、ICTの活用に関する講演等でした。

各講座は、少人数体制で講師の先生と参加者が身近にじっくりと活動でき、講座に参加された方々から好評でした。

今年も大阪支援教育コンピュータ研究会から多数の方々の協力をいただきました。各講座の運営がスムーズに行える事ができました。また、困ったときの適切なアドバイスで安心して講座に参加できた等、講座参加者から感謝の声が多数ありました。ありがとうございました。

夏期講座の会場は、2011年より大阪府教育センターを会場にして、今回5度目の実施となりました。回を重ねるごとに、大阪府教育センターとの打ち合わせや夏期講座の開催が順調に進むようになりました。大阪府教育センターの指導主事の先生方には、研修室の準備を早く行えるようにして頂いたり、遅い時刻にもかかわらず、電子技術実験室や情報教育研修室等の利用方法を丁寧に教えて頂きました。本当にありがとうございました。

今年の二日間の参加延べ人数は、341名（初日204名、2日目137名）でした。アンケートより今年も受講者の多くから、同じ講座を実施して欲しいとの要望がそれぞれの講座アンケートで書かれていました。

来年度の開催時期ですが、木曜日金曜日の時期で考えると8月18日、19日に大阪府教育センターを会場と考えているのですが、来年度の研修室の利用状況を確認しながら日程調整等を行っていこうと思っています。最後になりましたが、とつても暑い時期にかかわらず、今川会長をはじめ本部役員、各支部研究員の皆様、ご協力、本当にありがとうございました。

来年度のICT活用プロジェクト夏期講座の開催に向け、また、少しずつ準備していこうと思っていますので、よろしく願います。

## 各講座の様子

### A 講座

「国の動向から見た合理的配慮と ICT 活用の実例について」

講師 丹羽 登 先生、金森克浩 先生、コーディネーター 田村真一 校長



#### 講座内容&紹介

今、特別支援教育でキーワードになっている言葉の一つに「合理的配慮」があります。この言葉を聞いたことのある方は多いかと思えます。ICT 活用に限らず、「合理的配慮」とはどのようなもの、ことを指すのか、国の動向を踏まえながらお話しをしていただきます。また、ICT 活用と「合理的配慮」については、実践例などを交えながら紹介していただく予定です。

#### 講座の感想

- ・ 合理的配慮の法的な枠組みから実際の事例まで学ぶことができ頭の中で整理できたと思えます。これだけ多くの先生方が子ども達の効果的な配慮について考えて頂けることを嬉しく思うとともに、一方で学校への対応をどう求めていけば良いのか悩んでいる母親の思いが、なぜ学校現場で受け入れられないのか…（どうすれば良いのか…）考えてしまいます。今後も学ばせて頂きたいと思えます。
- ・ 金森先生のアニメを使った例や「合理的配慮と漢字」の YouTube の例はとてもわかりやすかったです。サイトの紹介もあり、まさに9月から使える支援教育での ICT 活用と思えます。今日は参加させていただけてよかったです。

### B 講座

「超初心者、ios 版 Garage Band 入門」 iPad アプリ活用講座

講師 川人弘幸 先生



#### 講座内容&紹介

周囲の児童生徒さんで「ゲームの操作に長けてて、音楽(初音ミクでもクラシックでも)が大好きで…」そんな方はいらっしゃいませんか? もし、いらっしゃったら是非是非 iPad のガレバンドを使って作曲する楽しさを伝えれば満面の「ドヤ顔」が見れますよ!(^^)

#### 講座の感想

- ・ おもしろかったです。学校の iPad にアプリをダウンロードしたので、また、生徒としてみたいです。
- ・ ガレージバンドを詳しく教えてもらえる人が周りにいないので、今回の講座はとてもためになりました。わかりやすかったです。今後、仕事に遊びに使いそうです。

## C 講座

### 「HTML5 と CSS を活用したコイン学習教材作り」 教材製作講座

講師 神佐 博 先生、新保 和仁 先生



#### 講座内容&紹介

HTML5 と CSS javascript でコイン学習ソフトを作成します。初日にコインの学習(1 円、10 円、100 円) のソースについて学び、コイン学習の 5 円、50 円、500 円を入れた場合の学習ソフトを各自作成して完成させる予定です。

#### 講座の感想

- ・ HTML、CSS (カスケード・スタイル・シート)、J (ジャバ) スクリプトと 3 つも教えていただいて、とても充実していました。入力量が多くて大変でしたが、複雑なシステムの部分部分を参考に使えそうです。
- ・ 今回の講座は、今、自分もとめていた「教材を作る」という内容と「プログラムを知る」ということで、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。HTML や CSS を知ることで、様々なコンテンツを作ることができるきっかけを学ばせていただきました。今回の学びをもとに私自身も研究として神佐先生のような教材作りをしていきたいと思っています。

## D 講座

### 「特別支援教育に役立つ Web の活用」 活用事例講座

講師 金森克浩 先生



#### 講座内容&紹介

「特別支援教育教材ポータルサイト」とそれに関連する Web 情報の活用講座。(必要機材) スマホ、タブレット、パソコンなどインターネットにつながる機器(無くてもいいですが、あると便利です)

#### 講座の感想

- ・ ネット上には、様々な情報ソースがあることが分かりました。私の課題について、丁寧にご指導いただき、ありがとうございました。学校で早速、実践し、ICT を使った授業展開をしたいと思います。
- ・ いろいろな WEB サイトの紹介をいただき、引き出しが増えました。複数の校種の先生方の取り組みや ICT 活用上の悩みを知れて参考になりました。校内での ICT 活用力と地域支援として、授業作りや ICT 活用を推進する上で、大変参考になりました。

## E 講座

「文章題の苦手な子ども達への支援～ICT を活用してみましよう～」事例報告講座

講師 近藤春洋 先生



### 講座内容&紹介

保護者の方から「うちの子、計算はできるのに、文章題ができないんです。」という相談をよく受けます。そのような子ども達のアセスメントをすると、その原因が、国語力の弱さではなく、もっと本質的な算数力に弱さがある場合があります。このような場合、どのようにアプローチすればよいのか、具体的なケースを基に具体物と PC ソフトを使った支援法のお話をさせていただきます。と思っています。

### 講座の感想

- ・ディスカリキュアについて脳科学の視点から解説していただき、とても分かりやすかったです。具体的な支援方法がとてもわかりやすく良かったです。どの四則計算も同じパターンでできるのがすごかったです。
- ・3年目の受講になります。本当に毎回、いろんな事を学ばせてもらっています。実際にいる目の前の子どもも同じようなしんどさを持っているので、しっかり持ち帰り、生かした授業作りをしていきたいと思います。

## F 講座

「iPad の基礎と基本：キーノート活用」 iPad アプリ活用講座

講師 根本貴明 先生



### 講座内容&紹介

iPad の利用が浸透してきて、様々な APP. (アプリ) を紹介しているサイト等も増えています。多種多様な APP. の中には支援教育の現場でも有用なものも沢山あります。今回は Keynote というプレゼンテーション APP. を活用して、先生方が目の前の児童生徒に示したい教材のアイデアを形にしたいと思います。もちろん、プレゼンテーション APP. としての基本機能を押さえ、提示用としての活用を基本と一緒に研究しましょう。

### 講座の感想

- ・iPad を 6 月に購入しました。ICT に苦手意識はありませんが、iPad は初心者という私にとって、導入部分を教えて頂き、とてもわかりやすく、これから自分で活用していく上で、良いスタートになりました。
- ・根本先生の講座は一昨年と 2 回で、わかりやすく参考になるものを沢山紹介して下さいるので、その後も活用ができ嬉しく思います。是非、職場でも共有できるものは、他の方と共有し教材を沢山増やせていけたらと思います。

## G 講座、M 講座

### 「パワーポイントで作るスイッチ教材ソフトの制作

～オートスキャンもできるよ♪～ 教材製作講座

講師 竹島久志 先生、安達敬仁 先生、小林拓矢 先生、藁谷 幹 先生



#### 講座内容&紹介

重度・重複障害児（知的障害を併せ有する重度肢体不自由児）の学習に必要な、スイッチで操作できる教材ソフトをマイクロソフト社のパワーポイントで作ります。制作する教材ソフトは、(1)クリック教材（スイッチを押すと画像が変化・音がでる）、(2)選択教材（オートスキャンによりスイッチ1個で選択できる）の2種類です。パワーポイントはプレゼンテーション制作ソフトですが、アニメーション機能等を利用することで、手軽に教材ソフトが制作できます。

#### 講座の感想

- ・パソコン操作は、それほど得意ではないので心配しましたが、みなさん（講師、講師補助）がわかりやすく丁寧に教えて下さったので、ソフトもひとつ完成させることができ良かったです。可動域の少ない生徒にとって、自分の力で（小さな力で）、大きな結果を得る活動を積み重ねていきたいと日々思っています。その方法としてスイッチ操作や情報機器は大変有効であると思います。
- ・パワーポイントで教材を作るにあたってアイデアを沢山いただきました。しばらくパワーポイントで教材を作っていなかったのですが、また挑戦してみようと思いました。

## H 講座

### 「学校生活の流れを視覚化して、

子どもにとって見通しのもてる手立てをパソコンで作ろう」 教材製作講座

講師 大前洋介 先生、片上優子 先生、江原 芳 先生



#### 講座内容&紹介

自閉症スペクトラムの子どもたちが見通しをもって行動できるようにシンボル画像や写真を使って、学校生活の1日の流れ、1週間の流れ、行事のプログラムなど視覚支援化しようという演習です。さまざまな場面で、ことばだけでなく視覚化できれば、もっと子どもたちは楽なのではないかと、なかなか支援できない日々を送っていませんか。本講座では、パソコン上でワードやエクセルやパワーポイントといったソフトを利用してオフィス DE ドロップスの使い方を演習していきます。

#### 講座の感想

- ・ドロップスの本を買っては見たものの使い方が分からず使えなかったのですが、今回教えていただいて、やっと役立てられそうです。使ってみたら教材作りに簡単に図を入れられるので、すごく作りやすくなった、ハードルが下がった感じがします。9月からの教材、作ってみようと思います。
- ・事前準備など、大変だったと思います。おかげさまで良い勉強になりました。

## I 講座

### 「自己実現・自己表現のための AT・IT 活用」 事例報告講座

講師 長島 康代 先生、田中 栄一 先生、伊丹一弘 先生



#### 講座内容&紹介

訪問教育を受けている重症児の AT (assistive technology) 活用実践と、SMA や DMD などの小児神経筋疾患の生徒の ICT 利用・活用で学校の先生に知っておいてほしい学校卒業後を見据えた今必要な身体と心の支援のポイントについて、お二人の先生方にお話をさせていただきます。最後にお二人への質問や参加者の皆さんとの情報交流、実践内容についての意見交換をする時間を企画しています。

#### 講座の感想

- ・長島先生のお話は、子どもの身体の動きと、こちらからの働きかけとの関係を見逃さず、そこにアプローチして子どもの可能性を引き出す取りくみを様々工夫されていることで、自分の日々の実践を見直すきっかけをいただきました。
- ・具体的な例をたくさんあげてのお話で、とてもよかったです。装置や役に立つサイトの紹介などもありがとうございました。
- ・ありがとうございました。筋ジス、他の子どもたちへのアプローチがいろいろわかりました。実践のヒントをいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

## J 講座

### 「マルチメディア DAISY の紹介と事例報告」 事例報告講座

講師 田中直壽 先生



#### 講座内容&紹介

マルチメディアデイジー図書の紹介と大阪マルチメディアデイジー研究会が進めている小学校・中学校・支援学校でデイジー図書を使った授業実践の事例報告を行います。

#### 講座の感想

- ・読み上げの文字色を変えたり、スピードを変えたり、子どもの音読の支援になりそうだと感じました。アプリのダウンロードについて、学校のパソコンのセキュリティが気になりました。
- ・デイジーについて、くわしく教えていただいてありがとうございました。読みに課題がある児童がいるので、何らかの形でデイジーを使っていけるといいなと感じました。iPad は、まだ学校に1台もないので、買ってほしいなと思っています。

## K 講座

「つくってみよう、OMELET(オムレット)で簡単 iPad 教材」 iPad アプリ製作講座

講師 仲矢史雄 先生



### 講座の感想

- ・ iPad のカメラを使用して、手軽に教材を作ることができる方法を学ぶことができ、とてもよかったです。教材をその場で複数で共有できる使い方はいいなと思いました。
- ・ オムレットでの教材作り、とてもおもしろかったです。この講座では、紙媒体の資料がついて、とても親切！！スタッフの方もすぐに対応してくれました。仲矢先生が私のような初心者にもよく分かるように説明してくださるのがとてもありがたかった。オムレット、ぜひ使いたいです！！

### 講座内容&紹介

iPad で、紙の上でプリント教材をつくるようにデジタル教材が作れる OMELET(オムレット)を使ってみませんか？文章に読み上げ音声を録音できて、ワンタッチで好きなところで区切ることができるので、音声支援教材も簡単です。ワードやパワポで作ったワークシートも、子ども達が iPad で解答できて、すぐに確認できるようになります。タブレットならではのカメラ撮影解答もできるので、直接書き込むのが難しい子ども達の学習もサポートできます。あなたのオリジナル教材作成を支援します！

## L 講座

「iPad を使った教材作り：ロイロノート活用」 iPad アプリ活用講座

講師 根本 貴明 先生



### 講座の感想

- ・ 去年に引き続き 2 度目の参加でした！（ロイロノートを使った教材作り）使わないと忘れることは、どんどん速くなっていくので、これからは、どんどん活用して、忘れないようにしたいです。
- ・ ロイロノートを使ってみたくて、この講座を希望しました。ロイロノートを調べて使い方を見たりしましたが、実際に触ってみると数倍楽しいしよく分かる！！生徒たちにも同じ体験をさせてあげたらと思いました。

### 講座内容&紹介

ナゼか子どもたちは生の私よりも TV の中の私の方によく注目しています。何でやろう…。昔はビデオ教材を作るのって大変でした。機器も沢山いるし、時間なんてもう何時間あっても足りないくらい…。

「未来の文房具」を謳う「ロイロノート」という APP と iPad の機能をフルに活かすことで、これまでより簡単にビデオ教材を作ることができます。簡単な機能の説明をした後、皆さんに演習をしていただきます。

## N 講座

### 「教えて！Google先生」 ICT なんでも相談講座

講師 秋 裕基 先生



#### 講座内容&紹介

今更人に聞きにくい疑問や悩みを、ネットにある膨大な知識を借りて、解決への糸口を探る講座です。

抱えている疑問をどのように検索していけばよいか、検索で得られた様々な知識や意見をどのようにして的確に収集していけばよいか。このように、検索から解決に向ける技術をお教えします。

#### 講座の感想

- ・1対1だったので、すごく勉強になりました。特にアプリのことや機能制限に関しては早速やってみます。

## O 講座

### 「近畿の先生、集まれ！」 ワークショップ講座

司会 根本貴明 先生



#### 講座内容&紹介

「この二日間で「どうしてこうも機器利用は難しいんやろう?」「上手くいく話ばかりではないのに…」」「自分だってこんなことやってみたで!」と思ったこと、ありませんか?

まずは一人10分程度の発表会(実践紹介や機器自慢、ICTの教育利用で困っていることなど)を行い、簡単なワークを通して参加者の皆さんとその想いを共有してみませんか?

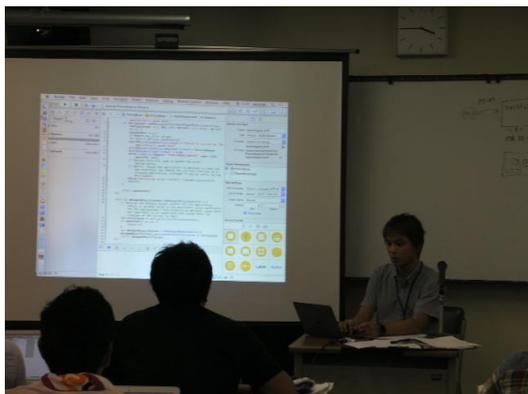
#### 講座の感想

- ・支援学校の先生方の事例を聞くことができ良かったです。画像や音声を取り入れた教材は素晴らしいと思いました。今後、私も真似していきたいです。
- ・いろいろな話が聞けて良かったです。2日間ありがとうございました。

## P 講座

### 「絵カードアプリをつくろう」 アプリ製作講座

講師 福嶋伸之 先生



#### 講座内容&紹介

iPhone や iPad で動かせるアプリを自分でつくってみましょう。前半はセミナー形式で、アプリ作成に必要なものからリリースまでの方法の紹介と、講師が解説を交えながらアプリを実際につくってお見せします。後半はワークショップ形式で、簡単な開発ツールの操作をみなさんにも行っていただきます。

#### 講座の感想

- ・学校では経験できない研修内容でした。難しい内容を素人にもわかりやすく話していただきありがとうございました。
- ・アプリを作るということは、こういうことなのかという全体像がよく分かりました。いろいろと親切に教えていただきありがとうございました。

## Q 講座

### 「iPhone 5・6 用リモートシャッターの改造と活用」 製作講座

講師 田中敏弥 先生、織田晃嘉 先生



#### 講座内容&紹介

100円均一ショップのダイソーで売られている iPhone 5・6 用リモートシャッターを改造して外部のスイッチ類をつなぐための改造を行います。リモートシャッターの基板を取り出し、小さなケースに入れ、ジャックを付けるだけの簡単な工作です。少し半田付けをします。商品パッケージには、iPad での使用ができないとありますが、iPad でカメラのシャッターを切ることができます。この装置の活用も考えていきたいと思えます。

#### 講座の感想

- ・iPad で写真を撮ることがリモートシャッターにスイッチを接続することで、とても手軽にできるようになりました。子ども達に写真を活用させる活動が増えてきていますので、自分で写せることがさらに楽しさや喜びにつながっていくと思います。
- ・ていねいに順を追って教えていただき、ありがとうございました。具体的に子どもが押す動画で、スイッチのもたらす効果がよく分かりました。スイッチの活用についての話も興味深く拝聴しました。

## R 講座

### 「パルス出力付きスイッチラッチ&タイマーの製作と活用」 製作講座

講師 禿 嘉人 先生、外山世志之 先生、谷本式慶 先生、平澤庄吾 先生



#### 講座の感想

- ・初めての製作で時間がかかりましたが、無事完成してよかったです。丁寧に対応してくださった先生方に心から感謝です。
- ・製作に手間取りまくって申し訳ありません。10年ぶりの製作、老眼がひどくなっていますので、よけい手間取りました。10年間の進化、ひろがり、目の当たりにさせていただきました。ありがとうございます。

## S 講座

### 「Bluetoothキーボードの改造と活用」 製作講座

講師 禿 嘉人 先生、外山世志之 先生、谷本式慶 先生、平澤庄吾 先生



#### 講座内容&紹介

パルス出力付きスイッチラッチ&タイマーは仙台高専 竹島研究室開発。スイッチを押し続けることが難しい場合に、『スイッチラッチ&タイマー』を使うと一定時間おもちゃ等を ON にしたり（タイマー）、スイッチを押し続けなくても ON を継続させたりすること（ラッチ）ができます。

#### 講座の感想

- ・とてもよかったです。使っていたのが壊れたので、この機会に作り直すことができよかったです。使い方も新しい情報を得ることができてよかったです。
- ・子どもたちの実態に合わせてスイッチをフィッティングすることや、使いどころを絞る等、色々参考になる話が聞けて良かったです。製作は精密な作業があり失敗してしまいましたが、丁寧に教えて下さりありがたかったです。